



「私学の無償化」政策の実現と私学助成運動の再生をめざして 2023公費助成・父母共同担当者会議

4月15日(土)～16日(日)、東京の全国教育文化会館を会場に2023年度の公費助成・父母共同担当者会議が開催され、全国から担当者を中心に教職員52人、父母9人、合計61人が参加しました。初日には「2023年度私学助成運動の基調」および「私学の無償化の前進に向けた政策」の提案に続き、特別報告「愛知県の経常費助成新制度」と岩手、長野、熊本の実践報告。日曜日午前中は2つの分散会に分かれて、A「各県のとりくみと方針」(レポートは青森、香川、新潟、大分の4本)およびB「全国父母懇すすめる会連絡会拡大世話人県会議」。午後には「父母共同」をテーマにした宮城、愛知のレポート報告と全体討論でした。また今年秋の全国父母懇交流集会の開催地である広島父母懇(磯元会長)より挨拶と参加の呼びかけがありました。



また今年秋の全国父母懇交流集会の開催地である広島父母懇(磯元会長)より挨拶と参加の呼びかけがありました。

全国私教連の提起に応じて多くの県で複数参加となり、初参加の青年・中堅の姿も見られました。2日間の充実した報告と討論を経て、各自治体への具体的な政策提案、学習の強化、父母との共同の前進、そして署名を増やすことなどを全体で意思統一しました。

【参加者の感想より】

○署名拡大のためにできることは「データをまとめて具体的要求をする」これに尽きる。しかし簡単にできることではない。減少した理由の分析と増やすための努力(個々の熱意)と社会への訴えが相乗効果をもたらすと信じている。世論を動かす目立った活動が必要なのも実感した。時代や社会的背景を理由にせず、それを乗り越える私教連の団結力が問われている。(岐阜)

○国や県、市町村の財政が厳しいというのは建前上あたり前ですが、その中でも教育への予算、さらには私学への助成が必要であることを訴えていきたい。教育負担の軽減が少子化対策にもつながることを強調していきたい。(香川)

○各県の単組、私教連が毎年署名獲得に向けて意欲的に取り組んでおられる姿を報告して頂き、この空気を(県の)公助担当者会議などで伝えて、今年の運動の活性化に繋げていけたらと感じております。自治体への働きかけと運動の再生を大きなテーマとして具体的な活動を計画し提起していきたいと思えます。(千葉)

○各県のそれぞれの活動状況を知ることができ、埼玉と同じ状況を実感した。特に共通していることは私学助成の学習が不足しているところと感じた。意味が理解できて拡大、筆数増につながると想像する。(埼玉)

○昨日と本日で他県の様子を知ることができるので、この会議はとても良いと思えます。文化も歴史も違うので出来ることと出来ないことがあります、たくさんのヒントを得ることが出来ました。(滋賀)

○多くの活動実践を自分の中にたたき込んで、歩みを止めないことを参加のねらいにして今回も来ました。発表させていただき、自分の活動が整理できました。父母とのつながりの大切さを(発表者なのに)改めて実感しました。3年ぶりの開催は大成功だと思います。しばらくぶりの飲み会最高!(宮城)

○とりわけ愛知県の経常費助成新制度について詳しく知ることができたのがよかった。愛知県のように私学運動が盛んな県の事例をそのまますぐに採用するのは難しくとも、是非とも参考にしたい。(岡山)

○父母が参加すると運動が変わっていくことを、実践を紹介して頂き、大変勉強になりました。(山形)

○父母は先生が声をかけて出会わせてくれると、あとは仲良く一緒にやっています! どんどんつなげていってほしいと思いました。(愛知・父母)

○今回、初参加をさせていただきました。まだまだ私学助成の取り組みの役割やその必要性というものがわかっていなかったもので、とても勉強になりました。また、各県の取り組みを聞くことによって、岩手でもっとがんばらなければいけない取り組みも見えてきたので、がんばっていきたくと思っています。(岩手)

○初めて参加させていただきました。何もわからない状態での参加でしたので、聞くことすべてが「へ〜」「ほ〜」という感じでした。しかし、お話を聞くことで少しずつ理解ができてきたと思います。今後がんばりますのでよろしくお願いいたします。(岡山)

(こんな提案も…)

「各県で15秒か30秒の私学助成動画を作って(できる生徒をたきつける)、YouTubeチャンネルで出せたらおもしろいし、学習に使えるのでは?」



オンラインも併用した分散会Bの父母懇拡大世話人県会議

「国向け請願趣旨・請願事項」を会議で承認しました(別添)。

岩手で紹介議員1名追加! 2022年度紹介議員は実人数で計200人に。

各県で方針・目標の策定、学習会・新歓行事の企画をしましょう。